

例会プログラム（移動例会） ●職業奉仕委員会 一色委員長

テーマ：「地域活性化を事業目標として取り組まれている経営者の事業観、経営理念に学ぶ」

龍野町川西地区では、令和元年の暮れに重要伝統的建造物群保存地区に指定され、その直後コロナ禍に見舞われたものの、ここ数年で、和食、フレンチ、イタリアン、ジビエ、ラーメン等沢山の飲食店やパン屋さん、雑貨店などの出店が続いています。

季候の良い時期でもありますので、その中の一つ「SUSHI&VEGETABLE 心」にて、ちらし寿司ランチを頂き、その後、「古民家ホテル kurasu」へと場所を移しての移動例会としました。

お話しをお伺いしたのは、株式会社 masumasu 代表取締役のアーデン様です。アーデン様は10代の頃から海外で学ばれて、イギリスで勤務された経験もお持ちです。

以前、当クラブでも卓話を頂いた緑葉社の畑本さん達と、この川西地区の街作りを牽引されていたパワフルな女性で、現在は古民家ホテルの運営に携わっていらっしゃいます。



-simple yet quality-



会社概要

Board Members: 代表取締役： アーデン歩



Industry: 古民家宿泊事業
小売業(食品・非食品)

Concept: 兵庫県たつの市“龍野城下町”の魅力を伝えるライフスタイルブランド。
龍野の素材を活用した「古民家ホテル/商品開発」を通して、ムカシから受け継いだモノを独自の視点で新たな形としてミライへ継承していく。

Vision: ① 龍野価値の探求
「龍野」の新たな価値と魅力を探求し提供していく
② 持続可能な町づくり
「龍野」コンパクトシティとしてへの成長と発展に貢献していく



kurasuは、龍野城下町全域をホテルと見立て、空き家活用し、改修された古民家物件を一棟貸切スタイルで利用していただく古民家ホテルです。宿泊施設でのお食事の提供は一切せず、城下町内の店舗への送客をはかります。宿のコンセプトは町の課題解決に繋がるような仕掛けづくりを意識し、「龍野の暮らしに出会える宿」を通して、より良い町づくりを目指しています。



©EBS/INFORMATION

ステップ1

課題意識
観光客の滞在時間(日帰り客に偏り)



一日中町全体を楽しんでもらえるように泊食分離スタイルの宿としての仕掛け

■昼間の訪問者はある一定数がある中、夜の飲食店が希薄なために長時間滞在の獲得が難しい。この現状の中、町全体をホテルと見立て宿泊業と飲食業が連携して泊食分離スタイルを強化する必要がある。

ステップ2

課題意識
若者移住者の低迷(町の高齢化)



町の良さを深く知ってもらえるように長期滞在・移住促進への仕掛け

■高齢化が進む城下町内で次の町の担い手を育む必要がある。通常の旅館やホテルに宿泊するのではなく、より暮らしに近い一棟貸切宿を利用していただき移住促進に繋げたい。またノマドワーカーや長期滞在にも対応した宿泊プランを思案中。

ステップ3

課題意識
一定多数だけを受け入れる観光地



誰にでも優しい町づくりを目指してユニバーサル(マイノリティ)な取り組み

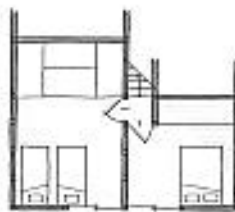
■一定多数の観光客だけを受け入れるのではなく、多種多様な訪問者の受け入れも可能にし、誰にでも優しい町づくりを目指す。町の福祉施設の方々との連携をはかり、宿泊だけではなく生涯学習の場としても利用してもらいたい。

©EBS/INFORMATION



【宿の特徴】

明治頃に建てられた古民家を
シンプルでどこか気品を感じる
空間に仕上げました。



kurasu「148 kawaracho」

定員：1～8名

宿泊：寝室3／和室／居間／トイレ／バス／バーキッチン

施設使用料：¥25,000～¥43,000／per night

（上記料金+お一人様につき ¥3,000）



© 2011/2012